

2023年1月25日

ペット産業振興会

(構成団体)

一般社団法人ペットフード協会	会長 児玉 博充
一般社団法人全国ペット協会	会長 小島 章義
一般社団法人全国ペットフード・用品卸商協会	代表理事 高橋 一彦
日本観賞魚振興事業協同組合	理事長 伊藤 恵造
日本小鳥・小動物協会	会長 石橋 伸孝
一般社団法人日本ペット用品工業会	会長 赤津 功一
ペットフード公正取引協議会	会長 小原 俊郎

(五十音順／敬称略)

ペット業界から約240名が参加！

「令和5年 ペット産業賀詞交歓会」が1月12日ヒルトン東京にて盛大に開催！

1月12日ホテルヒルトン東京4階「菊の間」において、「令和5年 ペット産業賀詞交歓会 ～新年の集い～」が開催、令和5年の初春を迎えるにあたりペット関連業界約240名が一堂に会し、ペット産業の発展に願いを共有した。

2019年以来3年ぶりに開催となった本会は、感染対策に伴いスクール形式の着座で実施され、初めて主催7団体の方針発表が行われるなど大盛会となった。

<開催概要>

開催名称：令和5年 ペット産業賀詞交歓会 ～新年の集い～

開催日時：2023年1月12日（木）11：30～13：00

開催場所：ヒルトン東京（東京都新宿区）

参加者数：約240名

<式次第 >

開会挨拶：一般社団法人日本ペット用品工業会 会長 赤津 功一（幹事団体）

オールペットの普及拡大がペット産業の発展に繋がるとした上で、「ペットが『経済価値』と『愛情価値』で評価されていますが、ペット産業においては『愛情価値』を追求し、それを高めることでさらなる発展と振興が実現出来ると思います。今の厳しい社会環境ではありますが、平和産業であるペット産業がより豊かな産業になるよう、力を合わせて盛り立てていきましょう。」と前を向いた取り組みを呼びかけた。

乾杯挨拶：一般社団法人日本ペットフード協会 会長 児玉博充

現在のペット産業規模は1兆7,500億円（前年比102.1%）となったが、犬の飼育頭数は2008年に比べ45%も減少している。世界的に見て犬の飼育頭数が減少しているのは日本だけであり、これはブリーダーの廃業に起因していると思われる。

科学的知見に基づいたペット飼育の効用を広く伝え、平和や豊かさの証明となるペット産業の存在を再確認して、ペットの飼育数を増やす取り組みが、今こそ重要である。

活動方針：一般社団法人全国ペット協会 会長 小島章義

ペットオーナーがペットと一緒に暮らす時に必要な商品・サービスを、安心して得られるよう尽力したい。また現在、ブリーダーが減少しており厳しい状況が続いているが、当会は小売業、ブリーダーの現場意向に沿った取り組みを推進していきたい。より良い人とペットとの共生社会であること、世界に誇れるペット産業となることを願っている。

一般社団法人全国ペットフード・卸商協会 代表理事 高橋一彦

原材料、燃料費の価格高騰で、今春も価格の見直しが予定されているが、流通を担っている当会としては、メーカーと協力してペット産業の健全な成長のために尽力していきたいと考えている。また行政機関の協力を得て、ペット産業界と全国の動物保護施設をつなぐ「PET LIFE SUPPORT」プロジェクトについての研修制度を推進していく。

日本観賞魚振興事業協同組合 副理事長 五味直也

アクアリウムフェアの開催の他、観賞魚飼育管理士資格検定制度を実施。

観賞魚の環境保全に関する社会事業では、在来種を保護する『外来生物法』や希少種保全活動に向けた取り組みも随時、環境省と協力して進めていく。

『観賞魚を飼うことは、生活を豊かにするアイテムであり、美しい観賞魚には、人々に癒しやすらぎを創造する力がある』と考えている。

日本小鳥・小動物協会 副会長 小林正和

動愛法改正において、適正な規制を進めるために小鳥・小動物に関する情報の提供など今後も環境省に協力していく。

また、過去 18 回開催している小鳥・小動物の普及を目的に開催しているバード&スモールアニマルフェアは愛好家の間に定着しており、当協会として普及啓発活動の大切な事業として進めている。2022 年は残念ながらコロナ禍で開催出来なかったが、本年は次回開催に向けて新たな気持ちで取り組んでいきたい。

日本ペット用品工業会 会長 赤津功一

当会は、オールペットの団体として 1985 年に発足して本年で 38 年目を迎える。

本年も当会は引き続き、安全・安心なペット用品開発を推進すること、またさらにペットの健康寿命の延伸に向けた活動について、法規を踏まえた正しい情報をペットオーナーの皆様へ伝えていきたいと考えている。

ペットフード協会 会長 児玉博充

当会の主な事業は、ペットの生命を守ること／ペットの健康を支えること／ペットとのより良い生活提案と啓発。疫学研究支援から得られる科学的事実を基にペットとの生活がもたらす、身体的・心理的・社会的価値を訴求し、ペット飼育意向喚起に努める。

ペットフード公正取引協議会 会長 小原俊郎

当会は 1974 年に設立し、半世紀にわたりペットフード産業の健全な成長に寄与してきた。

当会の目的は違反の摘発ではなく、法規の理解とその普及・啓発が目的である。

本年は、昨年改訂した規約の普及啓発や意識調査を行い、消費者目線に立ち多様化に対応して、規約の継続的な見直しに取り組んでいきたい。

中締め：一般社団法人全国ペットフード・卸商協会 代表理事 高橋一彦

本年も、平和産業とも言えるこのペット産業の皆様と一緒に、業界の健全な成長・発展に向かって力を合わせて進んでいきたい。

以上